

安全データシート

QuickGene SP kit DNA whole blood (SP-DB)

品名	GHS分類	絵表示
Protease EDB-01	皮膚刺激：2 眼刺激：2 呼吸器感作：1 特定臓器毒性(単回暴露)：3	
Lysis Buffer LDB-04	急性毒性：4 皮膚刺激：2 眼刺激：2	
Wash Buffer WDB-03		
Elution Buffer CDB-02		

倉敷紡績株式会社

バイオメディカル部

住所 〒572-0823
大阪府寝屋川市下木田町14-5
クラブウ寝屋川テクノセンター 3F

電話 072-820-3079

FAX 072-820-3095

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Protease
製品コード	EDB-01
SDS整理番号	EDB01_JP_1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	
製品の関連する特定用途	自動核酸分離システム用試薬 研究専用


2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)

上記で区分の記載がない危険有害性はガイダンス文書で規定された[分類対象外]または[分類できない]に該当する。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	皮膚刺激 強い眼刺激 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ 呼吸器への刺激のおそれ
注意書き	【安全対策】 粉じん／飛沫／ミストの吸入を避けること。 取扱後は手などをよく洗うこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 【応急措置】 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断／手当てを受けること。 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 【保管】 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
プロテアーゼ	80-100	9080-56-2	—

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣服を脱ぐ。石けんと多量の水で洗い流す。
眼に入った場合	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合 応急措置をする者の保護	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置	
消火剤	粉末消火器、泡、二酸化炭素、散水、噴霧水、通常の泡消火剤
使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	火災によっては刺激性または毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、適切な保護具(第8項参照)を着用すること。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法・機材	薬品が河川等に排出されないように注意する。 漏洩した薬品を適切な方法で回収する。危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策、保護具を着用する。 適切な換気がされている場合のみ使用する。 接触、吸入または飲み込まないこと。 「10. 安定性及び反応性」の項 参照
	衛生対策	取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。
保管	安全な保管条件 容器包装材料	取扱い後はよく手を洗うこと。作業衣を再使用する場合は洗濯すること。 酸化剤から離して保管する。容器を密栓し、28℃以下で保管する。 密栓式の容器に入れる。

8. ばく露防止及び保護措置		
設備対策		換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な手袋を着用する。 眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質		
当該化学品および成分の物理化学的性質		
物理的状态	形状	固体
	色	淡黄色
臭い		わずかな特異臭
pH		該当せず
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用対象外
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度(水)		易溶
n-オクタノール・水分係数		情報なし

自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度(粘性率)	固体のため適応外

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	酸化剤と反応する。
避けるべき条件	湿気
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	熱分解生成物、窒素酸化物

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	成分データからGHS区分2と分類した成分データ(プロテアーゼ) 皮膚刺激性: 含有するプロテアーゼについて、実験動物で皮膚刺激性が報告されていること、および欧州CLP 規則付属書VI の表3.1 に基づき「区分2」とした。 皮膚刺激(区分2)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	成分データからGHS区分2Aと分類した成分データ(プロテアーゼ) 含有するプロテアーゼについて、実験動物で眼刺激性が報告されていること、および欧州CLP 規則付属書VI の表3.1 に基づき「区分2A」とした。 強い眼刺激(区分2A)
感作性	呼吸器感作性
呼吸器感作性	成分データからGHS区分1と分類した成分データ(プロテアーゼ) 呼吸器感作性: ヒトにおいて酵素剤の吸入による呼吸器への感作の可能性が知られていること、および欧州CLP 規則付属書VI の表3.1 に基づき区分1とした。 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸器困難をおこすおそれ(区分1)
標的臓器毒性(単回ばく露)	成分データからGHS区分3と分類した成分データ(プロテアーゼ) 含有するプロテアーゼについて、ヒトで気道刺激性が報告さ(単回暴露) れていること、および欧州CLP 規則付属書VI の表3.1 に基づき区分3(呼吸器系)とした。 呼吸器への刺激のおそれ(区分3)

12. 環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	
国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
国内規制	
海上規制情報	
船舶安全法	該当しない
航空規制情報	
航空法	該当しない
陸上規制情報	
消防法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない

製品名:Protease
会社名:倉敷紡績株式会社
SDS整理番号:EDB01_JP_1

船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
- 2) JIS Z7250:2005
- 3) NITE GHS分類データ
- 4) NITE CHRIP (http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces)
- 5) 欧州CLP規則書VI、1272/2008EC

改訂履歴

2019年2月13日作成

記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Lysis Buffer
製品コード	LDB-04
SDS整理番号	LDB04_JP_1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	
製品の関連する特定用途:	自動核酸分離システム用試薬 研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2

上記で区分の記載がない危険有害性はガイダンス文書で規定された[分類対象外]または[分類できない]に該当する。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害(経口)。(区分4)
皮膚刺激。(区分2)
強い眼刺激。(区分2)

注意書き

【安全対策】

取り扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合:気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

【廃棄】

内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
-------------	-----

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
グアニジン塩酸塩	30-50	50-01-1	1-215
ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル	5-10	-	—
アミノアルコール類の塩酸塩	1-5	-	—
水	Balance	7732-18-5	—

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。不快感が続く場合は医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用する。(「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照)
環境に対する注意事項	薬品が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策 局所排気・全体換気 注意事項	皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取り扱った後、手を洗うこと。 適切な換気がされている場合のみ使用する。 「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照
保管	安全取扱い注意事項 安全な保管条件 容器包装材料	「10. 安定性及び反応性」の項 参照 日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。 十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。	
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な手袋を着用する。 眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。 適切な保護衣を着用する。
適切な衛生対策	使用中は飲食や喫煙をしない。眼に入らないようにする。皮膚に触れないようにする。飲食物から遠ざける。適切な産業衛生および安全対策のもとに取り扱う。	

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	無色ないし淡黄色
臭い		無臭
pH		約6
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		引火性はない
自然発火温度		可燃性はない
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度(水)		易溶

製品名 : Lysis Buffer
 会社名 : 倉敷紡績株式会社
 SDS整理番号 : LDB04_JP_1

n-オクタノール・水分係数	情報なし
分解温度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス、窒素酸化物(NOx)

11. 有害性情報

急性毒性	区分4	急性 経口 LD50 ラット: > 500 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	区分2	中程度の刺激
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2	軽度の刺激性
発がん性	IARC(国際がん研究機関)のランク[1:2A:2B]物質の有無: 該当物質なし	

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法: 産業廃棄物(廃酸)、水質汚濁防止法: 生活環境項目、下水道法: 下水の排除の制限】

14. 輸送上の注意

国際規則	
国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
国内規制	
海上規制情報	
船舶安全法	該当しない
航空規制情報	
航空法	該当しない
陸上規制情報	
消防法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
- 2) JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012
- 3) NITE GHS分類データ
- 4) NITE CHRIP (<http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop.jp.faces>)

改訂履歴

2019年2月13日作成

記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Wash Buffer
製品コード	WDB-03
SDS整理番号	WDB03_JP_1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	製品の関連する特定用途: 自動核酸分離システム用試薬 研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類区分に該当せず
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
塩化ナトリウム	0.5-1.5	7647-14-5	1-236
水	Balance	7732-18-5	—

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。原則として1%以上含有する成分を記載しています。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	不快感が続く場合は医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、適切な保護具(第8項参照)を着用すること。
環境に対する注意事項	薬品が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	ウエス、雑巾でできるだけ回収し、こぼした所を完全に拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 衛生対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。 適切な換気がされている場合のみ使用する 「10. 安定性及び反応性」の項参照。 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	安全な保管条件 容器包装材料	日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。 ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策		換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な手袋を着用する。 眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
pH		7.5
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用外(不燃性液体)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度(水)		易溶
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		水と同等

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス、窒素酸化物(NOx)

11. 有害性情報

急性毒性	経口	LD50 ラット:>2000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		無刺激
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		刺激性なし
発がん性		IARC(国際がん研究機構)のランク[1;2A;2B]の物質の有無: 該当物質なし

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 汚染容器及び包装	廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
---------------------------------	---

14. 輸送上の注意

国際規則	
国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
国内規制	
海上規制情報	
船舶安全法	該当しない
航空規制情報	
航空法	該当しない
陸上規制情報	
消防法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
- 2) JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012
- 3) NITE GHS分類データ
- 4) NITE CHRIP (<http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop.jp.faces>)

改訂履歴

2019年2月13日作成

記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Elution Buffer
製品コード	CDB-02
SDS整理番号	CDB02_JP_1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	製品の関連する特定用途: 自動核酸分離システム用試薬 研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類区分に該当せず
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
水	80-100	7732-18-5	—

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	不快感が続く場合は医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、適切な保護具(第8項参照)を着用すること。
環境に対する注意事項	薬品が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	ウエス、雑巾でできるだけ回収し、こぼした所を完全に拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。 適切な換気がされている場合のみ使用する 「10. 安定性及び反応性」の項参照。 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 衛生対策	
保管	安全な保管条件	日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。 ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン
	容器包装材料	

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。	
保護具	呼吸器の保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。
	手の保護具	適切な手袋を着用する。
	眼の保護具	眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
pH		8
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用外(不燃性液体)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度(水)		易溶
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		水と同等

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス、窒素酸化物(NOx)

11. 有害性情報

急性毒性	経口	LD50 ラット:>2000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		刺激性なし
発がん性		IARC(国際がん研究機構)のランク[1;2A;2B]の物質の有無: 該当物質なし

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規則		
国連分類		該当しない
国連番号		該当しない
国内規制		
海上規制情報		
船舶安全法		該当しない
航空規制情報		
航空法		該当しない
陸上規制情報		
消防法		該当しない
毒物および劇物取締法		該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
- 2) JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012
- 3) NITE GHS分類データ
- 4) NITE CHRIP (<http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop.jp.faces>)

改訂履歴

2019年2月13日作成

記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。